

土場鹿子舞保存会 小学4年生 石岡凌太郎

ぼくは、はじめてひこうきにのり、東京もはじめてでした。パパとママとはなれて旅行に行くのもはじめてでした。

東京では、見る物、乗り物、人の多さ、夜の明るさにおどろきました。そしてぼくが一番おどろいたのは、とても暑かったことです。

ししまいをおどる場所に行って、ステージの広さにびっくりしました。しっばいしないでおどれるか、とても心配しました（ぼくの心の中はドキドキハラハラ）。

本番では、しっばいもなく、うまくおどれてよかったです。

うれしかった事は、モノレールに乗る時にドクターイエローを見れた事です。とてもめずらしい列車だったのでラッキーでした。

おどりは大変だったけど、とても楽しかったです。また行きたいなあ～。

土場鹿子舞保存会 中学1年生 増川文也

ぼくは、東京で鹿子舞のしらさぎを踊ってきて、特に自分がかんばったと思うのは、鹿子を踊る人と息を合わせることができたことです。東京のステージはとても広くて、踊る時の感覚がとても難しく、息を合わせることができたのは良かったです。

そして、もう少しだったところは、踊りの途中で何度も鹿子のかぶり物を直してしまい、見栄えが悪く見えてしまったので、今度から特に注意してやっていきたいです。

土場鹿子舞保存会 中学2年生 川村ゆき

私は、土場鹿子舞で笛を吹いている中学2年生です。

今までは、江差町内でのみの発表だったので、今回町外で発表できていい経験になりました。

他の発表者たちは堂々としていて、観客も多かったので、緊張しました。ですが、練習通りに吹けたし、拍手もたくさんもらえて嬉しかったです。

また、このような機会があったら、積極的に参加したいと思いました。

土場鹿子舞保存会 中学2年生 白川夏鈴

私は土場鹿子舞の笛を担当しています。

今回出演してみて、学んだことがひとつあります。他の人の演奏を聞いてみて、もっと上手になりたいと思ったことです。島根県の笛の女の子が上手くて、自分の見本になるなと思いました。1人で大きな音で笛を吹いていて凄いなと思いました。

私は吹奏楽部で楽器を吹いているので、それにも生かしていきたいです。

土場鹿子舞保存会 中学2年生 増川文花

私は、当日にインタビューで「ヤンコはなぜあるのですか」などと聞かれ、よくよく考えてみると今までそのような事は気にしてなかったが、この機会で学ぶことができたのでよかったです。

また、8団体の中で私が一番印象に残った団体は、島根県益田市高津神社社中の皆さんの「石見神楽」です。その中でも笛を吹いていた女の子が、あの早いリズムの曲に合わせて吹いている様子を見て、私はとても凄いと思いました。

今回のニッポンの祭りで色々と学べたし、他の団体のいい所も見つけることができました。私はまだまだなので、これからも頑張っていきたいです。

とても良い経験ができました。

土場鹿子舞保存会 中学3年生 宮原良太

今回の東京公演は、少し失敗しました。太鼓のリズムが乱れて、笛と合っていない場面があったからです。

代表者として、開会式で代表者として盾をもらい、意気込みを話す時も、緊張のため上手くできませんでした。

今回の反省を活かし、これからも練習を続けて上手になりたいです。

土場鹿子舞保存会 高校1年生 高井遥香

私は、土場鹿子舞保存会で笛を担当している高校1年生です。土場鹿子舞にしっかり参加できてい

るのはそんなに数多くなく、有名でもないので、今回こんなに大きな舞台で披露できたのはいい経験
でした。

あんなに大勢の人に土場鹿子舞を知ってもらえて嬉しいです。またこのような機会を持ちたいです。